



発行番号：第11A0831号
発行日：平成23年 8月 5日

品質性能試験報告書

依頼者 株式会社 栗山百造

新潟県三条市井戸場84-9

株式会社 ダイドーハント

大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目5番5号

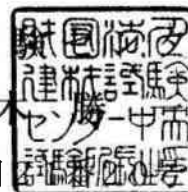
試験名称 木造住宅用基礎に使用されるアンカーボルト「KDHアンカーボルトM16」の引張試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

財団法人 建材試験

中央試験所長 黒木

埼玉県草加市稲荷5丁目



品質性能試験報告書

試験名称	木造住宅用基礎に使用されるアンカーボルト「KDHアンカーボルトM16」の引張試験							
依頼者	株式会社 栗山百造							
	株式会社 ダイドーハント							
試験体	試験体記号	アンカーボルト			木造住宅用基礎		数量	
	KDH	寸法：全長：450mm 埋め込み深さ：240mm ねじ部：M16 軸部：φ14.5mm			寸法：120mm×400mm×3000mm コンクリート：呼び強度：24 N/mm ² 普通 24 18 20 N(JIS A 5308)		3	
<p>(注) 1. 記載内容は、依頼者提出資料による。</p> <p>2. 木造住宅用基礎は、基礎の立ち上がり部分（以下、基礎相当材という）を対象とした。</p> <p>3. 試験は、基礎相当材のコンクリート圧縮強度が呼び強度の±10%の範囲内で行うようにした。</p> <p>参照：図-1（試験体） 表-1（コンクリートの配合及び圧縮強度試験結果） 表-2（アンカーボルトの引張強度試験結果）</p>								
試験方法	<p>概要：基礎相当材上面に埋め込まれたアンカーボルトにカプラー及び加力用鋼棒を取り付け、反力台、ジャッキ、球座及びロードセルを介して引張荷重を連続的に加えた。</p> <p>加力装置：センターホール型油圧ジャッキ センターホール型ロードセル（容量；200kN、非直線性；0.5%R0、ヒステリシス；0.5%R0）</p> <p>測定装置：電気式変位計（容量；50mm、感度；200×10⁻⁶/mm、非直線性；0.1%R0） データロガー</p> <p>参照：図-2（試験方法）</p>							
試験結果	試験体		基礎相当材上面のひび割れ発生時		最大荷重時		破壊状況	基礎相当材のコンクリート圧縮強度 N/mm ²
	記号	番号	荷重 (P) kN	変位 (δ) mm	荷重 (Pmax) kN	変位 (δ max) mm		
	KDH	1	48.0	0.7	82.1	5.4	基礎相当材のコーン状破壊	22.5 (表-1)
		2	64.7	1.3	73.5	3.2	基礎相当材のコーン状破壊	
		3	52.0	1.1	72.6	3.2	基礎相当材のコーン状破壊	
平均		54.9	1.0	76.1	3.9	—	—	
<p>参照：図-3（荷重-変位曲線） 写真-1～写真-3（破壊状況）</p>								
試験期間	平成23年 7月29日							
担当者	<p>構造グループ 統括リーダー 高橋 仁 試験責任者 守屋 嘉晃 試験実施者 宮下 雄磨</p>							
試験場所	中央試験所							